

# 初日



発行所  
埼玉県南埼玉郡  
越谷町役場企画室  
電話越谷42, 517, 519, 522番

役場事務の年末年始の取扱い  
廿八日(月)用納め、五日(土)から執務  
恒例の通り年末年始における役場事務は、廿八日(月)に御用納め、正月四日(木)は全職員が初顔合せ、五日(金)は初仕事となり、事務取扱いは廿八日から一月四日までの八日間休ませていただきます。なお、納税事務等の徴収事務のみ廿九日(土)に行います。 総務課

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	...	...

一月行事  
五日 元日、初詣で  
七日 役場仕事はじめ、小寒  
十五日 成人の日  
十六日 歳入り  
十七日 土用  
廿一日 町民税第四期納期限



## 私は越谷に住む鶏です

いよいよ今年も、私達の年で、合併以来順調な歩みを経て、ここに町建設三年目を迎えます。仲間は約三十万羽の産み落とす卵は、感動は筆舌に尽くせません。二千五百万個の東京の卵相場を左右するほどの名産品を、互いの幸福のために、どうぞよろしくおねがい申し上げます。

## 一月十五日・成人の日

おとなになつたことを自覚し、みづから生き抜こうとする青年を祝ひあげましょう  
—— 国民祝日には国旗を掲げましょう ——

## 新年を迎えて

越谷町長 大塚 伴 鹿



昭和三十三年の年頭にあたり、心から新年のお慶びを申し上げます。御多幸をお祈り申し上げます。越谷町建設三年目の元日を、町民各位の御期待にこたへ、果して出来たかどうか、今年町の政をどのように進めたいか、いよいよ責任の重大なる事を痛感いたします。

## みなさん、あけましておめでとーございませう

## 年頭に当りて

越谷町議会議長 横田 正男



あけましておめでとーございませう。本年は恰も酉歳にあたりますので、それになんで新年のあけましておめでとーを、年頭に当り私は幸福の象徴であります。西の市の熊手をおもい出して見

中学校建設工事が順調に進められて、そのおかげで、それにかかわる不動産の完成、更に新方松伏に通ずる釜橋も完成、その他消防機械化を促進して、団員の整理を行い、土木、産業面の進歩、保健衛生施策の推進等、町建設諸事業が順調に進められて希望にもえた本年を迎えたいわけであり、一方町政の基盤であります町財政は、全国的な地方財政窮乏赤字累増の中にあつて、幸い越谷町は赤字をまぬがれ収支の均衡を維持することができたのであります。これ一重に町民各位の文字通りの真剣な御努力の賜と心から感謝の意を表する次第であります。

- 委員代理 瀬尾 哲太郎  
教育長 秋山 長作  
斎藤茂右衛門 増田 俊雄  
第一地区農業委員会 長 竹内 正雄  
第二地区農業委員会 長 小倉 初治  
第三地区農業委員会 長 須賀 定吉  
第四地区農業委員会 長 金子 佐五八
- 選挙管理委員会 委員 浜野 梅次郎  
委員 染谷 勇快 永野 新太郎  
越谷町消防団 団長 荒井 政太郎  
副団長 大貫 玄蔵  
民生委員 同、行政連絡員 同  
公平委員 同、監査委員 同  
納税組合長 同、衛生協力員 同  
同、消防委員 同、固定資産評価審査委員 同、国保運営協議会委員 同、社会教育委員 同

## 泉の常識

## 郵便局へ集る お金の行方?

越谷郵便局の話

貯金は家の安定、国の飛躍の根元といふ。貯金というものは、一番身近な郵便局を思い出しますが、この際皆さんから郵便局へ預りしただけのお金がどうして使われているかを簡単に申し上げたいと存じます。

郵便局へ集るお金の主なるものは、郵便貯金、簡易保険の保険料、郵便年金の掛金、郵便料、電話料、納税金などその他いろいろあります。これらのお金は、国又は公共団体等の各機関の倉庫へ送られそれぞれ用途に使用されます。このうち郵便貯金と保険料、年金掛金等は将来の払戻し、又は改組準備金として積立てられ、国の財政資金として、貯金は大蔵省、保険料、年金掛金は郵政省においてそれぞれ運用されます。この両者は共に国又は公共団体の事業資金として国民の福祉増進に役立つお金のものです。

綴じて御保存下さい

道路附帯入について  
果住宅協会長栗原浩氏から果住宅協会有限の当町大房地内道路三十坪を無償寄附の方の申入があつたので、これを受理したものとす

町有不用建物売却処分  
町立第一診療所(田羽診療所)新築移転に伴い、不用となつたままの本造瓦葺平家建六六坪を売却処分するものとす

町営住宅売却処分  
引揚者としてこのほど建てられた町営住宅三戸建(二戸七坪五合)を一戸当り二十万円で海外引揚者に売却処分するものとす

土地買収について四件  
1 大字増井鈴木氏所有の、増井林道在所敷地二〇五坪を、価格町長一任で買収するものとす

町立東中学校建設事業に充てるため、三十一年度中に郵政省簡易保険局から年六分五厘以内で百万円超償還するもの

昭和三十一年度越谷町歳入歳出追加更正予算案を審議する十二月定例町議会は、去る廿四日開かれ、廿五日閉会となりましたが、いずれも原案どおり可決されました

# 追加更正予算など15件決まる 慎重審議した二日間

## 12月定例町議会

昭和三十一年度越谷町歳入歳出追加更正予算案を審議する十二月定例町議会は、去る廿四日開かれ、廿五日閉会となりましたが、いずれも原案どおり可決されました

この議案に提案された主な議案は別掲の通りですが、廿四日の本会議に、各常任委員会付託となつた請願四、陳情一(いずれも教育関係)及び昭和三十一年度決算認定等の審議は、各常任委員会共、廿五日午前中に行われ、午後開かれた本会議にその結果を各常任委員長から報告され、いづれも報告通り決定いたしました

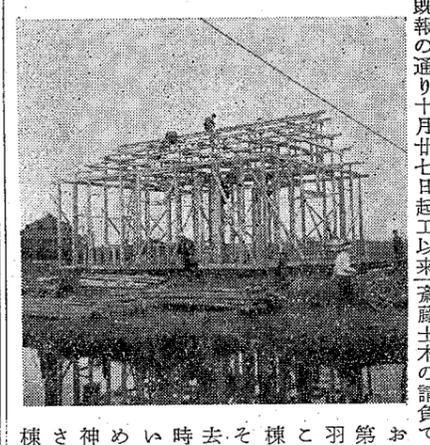
## 十二月三十一日現在で 全国一斉に工業調査

毎年十二月三十一日現在で行わがたつて作成された統計表は、国の工業統計調査が、今年も行の諸施策、中小企業対策の基礎資料として利用されます、当町省が全国の製造工業について、では近く別掲工業調査員が各地従業員数とか、原材料の使用額を訪問して町内関係製造業者の出荷額等について細かく調べ、を訪問していろいろお尋ねいたし、わが国の製造工業の実態を知りますから申告者各位の御理解と経済の動向を明らかにする最も重要な統計を作るために行うものです、いわば製造工業についての国勢調査であります、した

## 12月定例町議会提出議案

- 4 大字七左衛門野口氏外一名 手当が百分の二百三十に改められた町一反十四歩を、出羽小学校敷地に充てるため、買収するものとす
- 町立東中学校建設事業に充てるため、三十一年度中に郵政省簡易保険局から年六分五厘以内で百万円超償還するもの
- 昭和三十一年度越谷町歳入歳出追加更正予算案
- 歳入歳出追加更正予算案

## 町立第一診療所 上棟なる



既報の通り十月廿七日起工以来、斎藤土木の請負で工事を進めておりました町立第一診療所(田羽診療所)は、ここので上棟の運びとなり、その上棟式は、去る廿日午後三時から現場において、町長はじめ関係者が参集され、神式により挙行されました、上棟なつた第一診療所は、

調査統計資料は、国の雇用問題や失業問題などの対策をたてるために用いられます、この重協力がますますようお願いいたします

町立第一診療所(田羽診療所)は、ここので上棟の運びとなり、その上棟式は、去る廿日午後三時から現場において、町長はじめ関係者が参集され、神式により挙行されました、上棟なつた第一診療所は、

## 選挙公報

### 総代選挙行わる

当町に關係ある四土地改良区の総代選挙が次の通り行われま

選挙区	候補者	得票数
第一区(蒲生)	二九人	二九人
第二区(川柳)	二人	二人
第三区(大相模と増井の一部)	六人	六人
第四区(越ヶ谷)	三人	三人
第一選挙区(越ヶ谷)	一人	一人
第二選挙区(越ヶ谷)	一人	一人
第三選挙区(越ヶ谷)	一人	一人
第四選挙区(越ヶ谷)	一人	一人

### 教育委員会だより

月例作品入賞者

図案	増小五年	加藤 満
静物	袋小五年	瀨尾 勝利
風景	袋中二年	中島信次郎
静物	袋中三年	萩中 三年
静物	袋中三年	森若 俊洋

### 第二十二区(萩島)

第六人

### 第二十一区(大袋)

五人

### 第二十区(出羽)

七人

### 第十九区(越ヶ谷)

六人

### 第十八区(天沢)

一人

### 第十七区(新方)

三人

### 第十六区(大相模)

三人

### 第十五区(増井)

三人

### 第十四区(越ヶ谷)

一人

### 第十三区(越ヶ谷)

一人

### 第十二区(越ヶ谷)

一人

### 第十一区(越ヶ谷)

一人

### 第十区(越ヶ谷)

一人

### 第九区(越ヶ谷)

一人

### 第八区(越ヶ谷)

一人

### 第七区(越ヶ谷)

一人

### 第六区(越ヶ谷)

一人

### 第五区(越ヶ谷)

一人

### 第四区(越ヶ谷)

一人

### 第三区(越ヶ谷)

一人

### 第二区(越ヶ谷)

一人

### 第一区(越ヶ谷)

一人

を、引揚者に買却処分する議案を十二月定例町議会で提出議決を得たので、近く公募することになりました、それに伴うての事項は決定次第、広報を通じてお知らせいたします(寫真は竣工したつた引揚者住宅) 厚生課



引揚者用住宅三戸竣工

宮前青年会が松苗木密附お寺、神社に五本植樹

越ヶ谷地区宮前青年会(会長坂巻誠一さん)では、最近神社やお寺の木々が年々減つていくのを憂え、わが郷土の名所旧蹟を守り、いつまでもその風格を止めようと、會員一

動員和で、町内十校三百の豆選手、紅白の鉢巻もり、しく奮闘する様は誠に頼もしい限りでありました、試合は男女とも抽せんにより三グループに分けられ、リーグ戦によつて進められ、勝つた三チームによる決勝戦が行われた結果、男子は大袋小、女子は桜井小に劣る優勝は輝きました、男子優勝には教育委員長杯、女子優勝には体育協会長杯が、それぞれ授与されました、成績は次の通りであります(大袋小学校長鈴木重次氏より)

男子(1)大袋小(2)新方小(3)桜井小、女子(1)桜井小(2)新方小(3)大袋小

新方領土地改良区  
総代決

全国的な新生活運動に呼応し、昨年来当町農村部あての七五三集団祝は、本年も各地区次の日取りで公民館、婦人会が共催して行いました、昨年実施した事が、ほんとうに

よい事であるという觀念となつて生れ、各地区共ほとんど全部の該当児が出席して集団の式が挙行されました、式場には親達の付添いで、女兒はセーラ服、男児は学童服とお揃いで着席し、いすこもも揃いそうな面持でした、神主の祝詞上奏、おはらいが行われ、児童代表の玉串奉奠があつて式は終了、記念にもらつた千歳輪やノートを手にし、一同かくしきれない笑顔をほころばせながら記念撮影して各地区共とごうりなく理想的な七五三集団祝を終了したわけです

十二月一日大袋地区▽同月八日出羽地区▽同月九日桜井地区▽同月十四日蒲生地区▽同月十四日新方、大相模両地区▽同月十五日萩島、川柳両地区▽同月十六日増井地区